



平成 28 年 3 月 18 日

各 位

会 社 名 株式会社アイドママーケティングコミュニケーション
代表者名 代表取締役 蛭谷 貴
(コード番号：9466 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 経営管理部 長 中川 強
(TEL.076-439-7878)

東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成28年3月18日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成28年3月期（平成27年4月1日から平成28年3月31日）における当社の業績予想は、次のとおりであります。

【個 別】

(単位：百万円・%)

項目	平成 28 年 3 月 期 (予想)		平成 28 年 3 月 期 第 3 四 半 期 累 計 期 間 (実績)		平成 27 年 3 月 期 (実績)		
	対売上高 比率	対前期 増減率	対売上高 比率	対売上高 比率	対売上高 比率		
売 上 高	7,118	100.0	8.3	5,502	100.0	6,574	100.0
営 業 利 益	741	10.4	54.7	635	11.6	479	7.3
経 常 利 益	724	10.2	49.9	633	11.5	483	7.4
当期（四半期）純利益	487	6.8	106.7	423	7.7	235	3.6
1 株 当 たり 当 期 (四 半 期) 純 利 益	79 円 99 銭		69 円 96 銭		38 円 89 銭		
1 株 当 たり 配 当 金	0 円 00 銭		—		0 円 00 銭		

- (注) 1. 当社は連結財務諸表を作成しておりません。
2. 平成 27 年 3 月 期 (実績) 及び平成 28 年 3 月 期第 3 四 半 期 累 計 期 間 (実績) の 1 株 当 たり 当 期 (四 半 期) 純 利 益 は 期 中 平 均 株 式 数 に よ り 算 出 し て お り ま す 。 平 成 28 年 3 月 期 (予 想) の 1 株 当 たり 当 期 純 利 益 は、公 募 株 式 数 (700,000 株) を 考 慮 し た 予 定 期 中 平 均 株 式 数 に よ り 算 出 し て お り ま す。
3. 平成 27 年 11 月 19 日 付 で 普 通 株 式 1 株 に つ き 100 株 の 株 式 分 割 を 行 っ て お り ま す が、上 記 で は 平 成 27 年 3 月 期 の 期 首 に 当 該 株 式 分 割 が 行 わ れ た と 仮 定 し、1 株 当 たり 当 期 (四 半 期) 純 利 益 及 び 1 株 当 たり 配 当 金 を 算 出 し て お り ま す。

【平成28年3月期業績予想の前提条件】

(1) 当社全体の見通し

当社を取り巻く環境に関して、当社の主要顧客である流通小売業界は、国内景気が緩やかな回復基調で推移していることから業界全体としては堅調に推移しております。

一方、流通小売業界内においては、業態を超えた出店競争が激化する等厳しい経営環境が続いており、マーケティング分析をはじめとする新たな販売促進手法に対するニーズが高まっておりますが、この傾向は今後も継続するものと認識しております。

当社では、このようなニーズに対応するため、原則として顧客オフィスに常駐する販売促進支援チーム、東京営業本部を中心としたマーケティング・プランニングチーム、富山本社を中心としたデザイン支援チームを組成し、販売促進の企画提案からデザイン制作までをトータルで支援する制作支援体制を構築し、マーケティングデータ分析等を取り入れた販売促進に関する企画・提案・デザイン・販促物の制作までを一気通貫で行うサービスを展開しており、足元の業績は順調に推移しております。

(2) 個別の前提条件

①売上高

売上高は、顧客の要請に応じた販売促進に関する企画・提案・デザイン・販促物の制作を支援することで収受する販売促進支援業務の受託料であり、顧客別に受注見込みを積み上げて算出しております。受注見込みの積み上げに際しては、顧客の年間販売促進計画を基に顧客とのヒアリングを行うことにより、顧客の年間折込広告等の制作本数、部数を把握し、マーケティング分析、企画・提案、デザイン制作等の提供サービス全体を加味した単価にその折込広告等の制作本数、部数を掛け合わせることで算出しています。

平成28年3月期第3四半期までの業績進捗については、前事業年度に受注した新規顧客に対する販売促進支援業務が当第1四半期中より開始したことや既存顧客に対する販売促進支援業務が堅調に推移したことにより前年同四半期累計期間に比して増収しており、売上高（実績）は5,502百万円となりました。

平成28年3月期第4四半期の売上高は、顧客からの受注済みの案件を基礎として顧客の販売促進計画や顧客から収集している情報等に基づき受注確度の高い案件を積み上げた結果、1,616百万円（1,616百万円のうち、7割程度が受注済みの案件、1割程度が顧客の販売促進計画に基づく受注確度の高い案件、残りの2割程度が継続的な取引実績のある顧客に対する前期実績や顧客へのヒアリングを勘案した受注見込案件）を見込んでおります。

以上の結果、平成28年3月期の売上高は、7,118百万円（前期比8.3%増）を見込んでおります。

業績予想の策定は、足元の受注状況等を踏まえて実施しておりますが、国内の景気や個人消費の動向等の経済環境や顧客の販売促進政策の変更等が生じた場合には、当社の業績予想に影響を及ぼす可能性があります。

②売上原価、販売費及び一般管理費、営業利益

平成28年3月期第3四半期までの売上原価（実績）は、4,170百万円、売上原価率75.8%（前年同四半期累計期間の売上原価率と同水準）であり、平成28年3月期の売上原価は、当第3四半期までの実績を勘案して5,454百万円（前期比6.7%増）を見込んでおります。

売上原価は、折込広告などに係る印刷外注費や折込外注費、デザイン制作に係る人件費、紙代やトナー代などの消耗品費等で構成されております。

外注費については、前年実績等を基にした顧客毎の売上に対応した外注費比率により積み上げて算出しており、売上高の増加に伴う折込広告等に係る印刷や折込業務の外注費増加を見込んでおります。人件費については、前期実績値を基として、人員計画に基づく12名増員の140名（当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含む就業人員数（パートタイマー含む））にて算出しており、429百万円（前期比15.1%増）を見込んでおります。その他の紙代やトナー代等の消耗品費等については、各費用の前期実績値を基に積み上げ方式により算出しております。

販売費及び一般管理費は、主に人件費（役員報酬含む）で構成されており、平成28年3月期第3四半期までの実績値を基として、人件費（役員報酬含む）については人員計画に基づく3名増員の109名（当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含む就業人員数（パートタイマー含む）に役員人員数を加えた人員数）にて算出しており、その他の広告宣伝費、支払手数料、旅費交通費等の費用に関しては、個別に積み上げて見積もった結果、平成28年3月期の販売費及び一般管理費は、人件費（役員報酬含む）が588百万円（前期比3.0%増）となる一方で前期に発生していた上場準備に係る費用等の低減により、922百万円（前期比6.3%減）を見込んでおります。

以上の結果、平成28年3月期の営業利益は741百万円（前期比54.7%増）を見込んでおります。

③経常利益

営業外収益については、受取利息等を4百万円見込んでおります。営業外費用については、上場関連費用等を21百万円見込んでおります。

以上の結果、平成28年3月期の経常利益は724百万円（前期比49.9%増）を見込んでおります。

④当期純利益

特別損益については、特段見込んでいる事項はありません。税引前当期純利益724百万円より法人税額等を差し引き、平成28年3月期の当期純利益は487百万円（前期比106.7%増）を見込んでおります。

本資料に記載されている当社の業績見通しについては、本資料の作成時点において入手可能な情報による判断及び仮定を前提にしており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

以 上



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年3月18日

上場会社名 株式会社アイドマーケティングコミュニケーション 上場取引所 東
 コード番号 9466 URL https://www.e-aidma.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 蛭谷 貴
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 中川 強 TEL 076 (439) 7878
 四半期報告書提出予定日 - 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	5,502	-	635	-	633	-	423	-
27年3月期第3四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	69.96	-
27年3月期第3四半期	-	-

- (注) 1. 当社は、平成27年3月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成27年3月期第3四半期の数値及び平成27年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率の記載はしていません。
 2. 当社は、平成27年10月15日開催の取締役会決議により、平成27年11月19日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益金額は、当該株式分割が期首に行われたものと仮定して算出しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	3,286	1,573	47.9	259.60
27年3月期	2,567	1,146	44.6	189.11

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 1,573百万円 27年3月期 1,146百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
28年3月期	-	0.00	-	-	-
28年3月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年3月期の業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,118	8.3	741	54.7	724	49.9	487	106.7	79.99

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 2. 平成28年3月期の業績予想の1株当たり当期純利益は、公募株式数（700,000株）を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しております。
 3. 当社は、平成27年11月19日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。このため平成28年3月期の1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	6,060,000株	27年3月期	6,060,000株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	－株	27年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	6,060,000株	27年3月期3Q	－株

- ※ 1. 当社は、第3四半期の業績開示を平成28年3月期より行っているため、平成27年3月期第3四半期の期中平均株式数は記載していません。
- 2. 当社は、平成27年10月15日開催の取締役会決議により、平成27年11月19日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。「1株当たり情報」は、当該株式分割が平成27年3月期期首に行われたものと仮定して算出しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であります。この四半期短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は完了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提となる条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用環境の改善が続いているほか、企業の設備投資に持ち直しの動きがみられるなど、景気は緩やかな回復基調で推移しておりますが、アジア新興国等の景気減速の懸念から先行き不透明な状況となっております。消費動向につきましても、訪日外国人客による需要拡大は見られるものの、物価上昇懸念や節約志向の高まりから国内個人消費の持ち直しには足踏みの状況がみられます。

このような状況の中、当社は、流通小売業におけるクライアントからのニーズにより一層応えるため、スーパーマーケット及び食品メーカーを対象とする独自のマーケティングデータ分析支援システムを用いて、POSデータ、気象データ、商圈シェアデータ、独自調査のトレンドデータといった複合的なデータ分析を行うことで消費者に対する広告の訴求力、消費者の目線に立ったセールスプロモーションの品質強化に注力いたしました。

また、新規クライアント等に対する販売促進支援業務が堅調に推移し業容が拡大する中、業務の効率化に引き続き努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は5,502,461千円、営業利益は635,810千円、経常利益は633,996千円、四半期純利益は423,931千円となりました。

なお、当社の事業は統合型販促支援事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較して719,155千円増加し、3,286,874千円となりました。これは主に、現金及び預金443,575千円、受取手形及び売掛金292,618千円の増加によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債は、前事業年度末と比較して291,987千円増加し、1,713,670千円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が313,844千円増加した一方で、未払金が94,148千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末と比較して427,168千円増加し、1,573,203千円となりました。これは主に、四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が423,931千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想については、平成28年2月16日に公表いたしました予想から変更ありません。なお、業績予想につきましては、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予測数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	954,221	1,397,797
受取手形及び売掛金	671,780	964,399
仕掛品	35,961	23,246
原材料及び貯蔵品	8,881	8,309
繰延税金資産	26,509	14,595
その他	106,212	96,860
流動資産合計	1,803,567	2,505,209
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	218,237	209,155
構築物(純額)	18,438	22,681
車両運搬具(純額)	8,662	6,134
工具、器具及び備品(純額)	32,913	26,494
リース資産(純額)	31,774	50,476
土地	227,505	227,505
有形固定資産合計	537,530	542,448
無形固定資産		
ソフトウェア	37,219	46,799
リース資産	3,091	5,335
その他	906	906
無形固定資産合計	41,216	53,040
投資その他の資産		
投資有価証券	78,912	82,273
関係会社出資金	3,762	3,762
敷金	31,562	31,596
繰延税金資産	31,315	27,654
その他	39,851	40,888
投資その他の資産合計	185,404	186,176
固定資産合計	764,151	781,665
資産合計	2,567,718	3,286,874

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	879,709	1,193,554
1年内返済予定の長期借入金	64,492	31,817
リース債務	7,471	14,023
未払金	179,822	85,673
未払費用	30,885	45,820
未払法人税等	64,553	126,992
その他	53,719	79,704
流動負債合計	1,280,653	1,577,585
固定負債		
長期借入金	105,537	84,018
リース債務	28,631	45,205
その他	6,862	6,862
固定負債合計	141,030	136,085
負債合計	1,421,683	1,713,670
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
利益剰余金	1,075,178	1,499,109
株主資本合計	1,125,178	1,549,109
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	20,856	24,093
評価・換算差額等合計	20,856	24,093
純資産合計	1,146,035	1,573,203
負債純資産合計	2,567,718	3,286,874

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
売上高	5,502,461
売上原価	4,170,096
売上総利益	1,332,364
販売費及び一般管理費	696,554
営業利益	635,810
営業外収益	
受取利息	732
受取配当金	547
為替差益	2,629
その他	325
営業外収益合計	4,235
営業外費用	
支払利息	958
上場関連費用	5,090
営業外費用合計	6,048
経常利益	633,996
税引前四半期純利益	633,996
法人税、住民税及び事業税	194,614
法人税等調整額	15,451
法人税等合計	210,065
四半期純利益	423,931

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、統合型販促支援事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。